

日本大学学術フロンティア推進事業「認知・記憶・行動の脳内メカニズム」

平成19年度 研究会 「神経生理と認知心理の接点 その2」

平成20年3月22日(土曜) 13時～18時30分

日本大学・医学部・リサーチセンター4F ホール

13:00 ご挨拶 泰羅雅登 日本大学 大学院総合科学研究科

座長：稲瀬正彦 近畿大学 医学部 生理学第二講座

高田昌彦 東京都神経科学総合研究所

13:05～13:45 随意運動の制御における脊髄反射の機能を再定義する

関 和彦 生理学研究所 認知行動発達機構部門

13:45～14:25 運動課題遂行中のサル線条体における神経活動とそのGABA作動性調節

畑中伸彦 生理学研究所 生体システム部門

コーヒーブレイク 14:25～14:35

座長：伊佐 正 生理学研究所 認知行動発達機構部門

南部 篤 生理学研究所 生体システム部門

14:35～15:15 サル内側前頭前野による時間長の認知と再生

湯本直杉 (東京都神経研)

15:15～15:55 V1 およびLGNの特徴抽出性が文脈依存的にどれほどダイナミックに変化するか

～視床-皮質間結合との関係の再認識～

内藤 智之 大阪大学

コーヒーブレイク 15:55～16:05

座長：佐藤宏道 大阪大学

【指定講演】

16:05～17:05 高次視覚野におけるfMRIと単一細胞活動記録との比較

～adaptation methodsの限界～

澤村裕正 東京大学医学部眼科

ブレイク 17:05～17:10

【特別講演】

座長：泰羅 雅登 日本大学 大学院総合科学研究科

17:10～18:30 「先天盲開眼者における視覚認知活動の形成」

東京大学名誉教授 鳥居修晃先生

終了後 懇親会 (無料)